

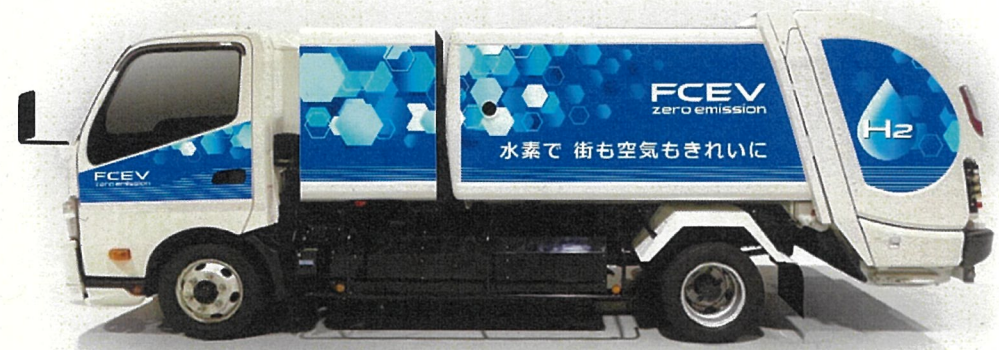
【脱炭素社会の実現】

■ZEVごみ収集車導入に向けた検討（プレス資料 P.40）

〈千代田清掃事務所 03-3256-0566〉

区では、2030（令和12）年度までに、区有施設におけるゼロカーボンの達成をめざしています。
令和6年度は、ZEVごみ収集車（燃料電池ごみ収集車）を試験的に運用し、効果検証等を行います。

千代田区では、東京都のZEVごみ収集車実装支援事業を利用して、二酸化炭素を排出しないZEVごみ収集車の試験運用を行います。本年3月下旬以降の導入を経て、試験期間は令和7年8月までで、その後、脱炭素化、ゼロエミッション車両の導入に向けた検討に入ります。



燃料電池ごみ収集車（イメージ） ※技術検討実証車 写真提供：トヨタ自動車株式会社

ごみ組成調査をもとにした分別への取組み

令和6年度に、温暖化防止の取組みの一環として、令和5年度に実施した「ごみ・資源の組成調査」結果を踏まえた分別対応策を検討します。

千代田区の現状の適正分別率は67.8%で、プラスチックや資源など各組成の比率の他、地域別、ファミリーと単身世帯の差などデータを分析し、対策に活かします。

